

科目名	国語 I	英文表記	Japanese I	平成 22 年 3 月 5 日作成		
教員名：網谷 厚子						
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	5 年	必修	履修	1 単位	講義	半期
目 標	1 人の心に届く効果的な〈言葉の力〉について理解を深める。 2 言語によって〈人〉〈物〉を生かす力の実際について学び運用できる。 3 自らの言語によって創造力を発揮できる力を身につける。					
高 専 目 標	機械：1.2.4 情報：1.2.4 メディア：1.2.4 生物：1.2.4	JABEE プログラム名称		全プログラム		
		JABEE プログラム教育目標		機械：(A-1)(B-3)(B-4)(C-1) 情報：(A-1)(B-1)(B-2)(B-3)(C-1)(C-3) メディア：(B-1)(B-2)(C-4) 生物：(B-1)(B-2)(C-2)		
授業概要、 方針、 履修上の注意	1 広告コピー・歌詞等身近な現代の「言葉」の力について学ばせる。 2 文学作品、特に韻文学における効果的な表現方法についての認識を深めさせる。 3 創作を通し、創造性を鍛え、世界に向かって発信する言葉の力を身につけさせる。					
評 価 方 法	1 課題テストの評価 50% 2 課題・レポートの内容 40% 3 プレゼンテーション 10%					
教科書・教材	『日本語の詩学』（学生に配布、網谷厚子著・土曜美術社出版販売、）他自主編成教材					
参 考 図 書	授業ごとに時間内に提示					

授 業 計 画

授 業 項 目	時 間	授 業 内 容
1. 現代社会における〈言葉の力〉	2	社会の中での実例を挙げさせ〈言葉の力〉に気づかせる。
2. 広告コピーにおける〈言葉の力〉	2	商品を〈売る〉現実的な効果について認識を深めさせる。
3. 歌詞における〈言葉の力〉	2	人の心を惹きつける言語方法の多様性を知る。
4. 歌舞伎作品の〈言葉の力〉	2	歌舞伎作品から日本語表現の面白さに気づかせる。
5. 詩的言語の力・・・記紀歌謡	2	〈歌〉の始まりについて歴史的に学ばせる。
6. 詩的言語の力・・・万葉集	2	個人的感情の表現の発現について学ばせる。
7. 詩的言語の力・・・古今集	2	類型・個性的表現の方法について学ばせる。
8. 詩的言語の力・・・現代詩	2	〈詩〉の自由な表現方法の実際について習熟させる。
9. 詩的言語の力・・・俳句	2	〈俳句〉の表現方法について習熟させる。
10. 詩的言語の力・・・短歌	2	〈短歌〉の間・記号の効果的方法について習熟させる。
11. 創作することによる〈言葉〉の発信	2	〈詩〉〈俳句〉〈短歌〉による創作を試みさせる。
12. 「ナレーション」「朗読」の効果	2	「声」を媒体とする芸術の在り方に気づかせる。
13 〈言葉〉を生かす小道具・効果音	2	〈言葉〉が生きるための様々な工夫について学ばせる。
14. 作品のプレゼンテーションと評価	2	自らの作品をプレゼンテーションし相互評価する
15 後輩に贈る言葉	2	メッセージを伝える力を身につかせる
学習時間合計	30	実時間 25

学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）